

社会人教養としての経済史

首都大学東京では、2018年4月より大学院教育として経済学プログラム(修士)を開始、社会人も学べるよう、主として、丸の内サテライトキャンパスで夜間・土日に授業を開講しています。今年度は、経済学プログラム内「経済史プロジェクト」による「金融と歴史」をテーマとしたシンポジウムをおこないます。

日 時 11月23日(金・祝) 14:30-17:00 *14:00 開場

会 場 AP 東京丸の内

(千代田区丸の内1丁目1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

講演 1 高槻 泰郎 氏 (神戸大学経済経営研究所・准教授)

「江戸時代大坂の金融市場 –大名の資金調達を素材に–」

講演 2 鎮目 雅人 氏 (早稲田大学政治経済学術院・教授)

「近代日本と中央銀行」

* 入場は無料。事前の参加登録が必要です。(先着 100 名様)

参加ご希望の方は以下の WEB ページ (Google フォーム) よりお申込みください。

<https://goo.gl/AbA7s8>



【会場アクセス】

最寄駅：地下鉄大手町駅 D6 出口直結

(地図：<https://goo.gl/xKC4N3>)

* 裏面もご覧ください

司会：小林 延人（首都大学東京大学院 経営学研究科）

14:30 開会の挨拶 田中 敬一（首都大学東京大学院 経営学研究科長）

14:35 講演（1） 高槻 泰郎（50分講演、質疑応答10分）

15:35 休憩（10分）

15:45 講演（2） 鎮目 雅人（50分講演、質疑応答10分）

16:45 首都大学東京大学院 経済学プログラムの案内

17:00 閉会

【日時】2018年11月23日（金・祝）14:30-17:00（14:00開場）

【会場】AP 東京丸の内

* 入場は無料。参加ご希望の方は、右記アドレスよりお申込みください。 <https://goo.gl/AbA7s8>

【お問い合わせ】 tmumec@gmail.com（担当：小林・竹内）

* 表面もご覧ください

(1) 高槻 泰郎 氏（神戸大学経済経営研究所・准教授）

「江戸時代大坂の金融市場 一大名の資金調達を素材に一」

江戸時代最大の金融市場であった大坂を対象に、当時最大の資金需要主体であった大名による資金調達に着目し、それを支えた金融システムについて紹介する。数ある大名の資金調達手段の内、ここでは、①不特定多数の相手から資金を集める方法と、②特定の商人と長期的な関係を構築して融資を受ける方法の2つを取り上げる。①の類型を現代に求めるならば株式・社債市場であり、②の類型はリレーションシップバンキング・シンジケートローンである。

講演者略歴 2010年 東京大学大学院経済学研究科・助教

2011年 神戸大学経済経営研究所・講師

2013年 神戸大学経済経営研究所・准教授 現在に至る

研究テーマ 近世日本の金融政策・金融の実証分析

主要な業績 『近世米市場の形成と展開：幕府司法と堂島米会所の発展』名古屋大学出版会、2012年

(2) 鎮目 雅人 氏（早稲田大学政治経済学術院・教授）

「近代日本と中央銀行」

1882（明治15）年に日本の中央銀行として設立された日本銀行の歴史について、幕末開港以降の近代日本経済の変容と、その中で日本銀行が果してきた役割の変遷に着目して振り返る。

講演者略歴 1985年 日本銀行 入行

2006年 神戸大学経済経営研究所・教授

2008年 日本銀行金融研究所・企画役

2014年 早稲田大学政治経済学術院・教授 現在に至る

研究テーマ 近代日本の金融制度

主要な業績 『世界恐慌と経済政策：「開放小国」日本の経験と現代』日本経済新聞出版社、2009年